

大会経費V4(バージョン4)について

- 平成29年5月31日

大会の役割(経費)分担に関する基本的な方向について合意

- 平成29年12月22日

大会経費V2 公表

- 平成30年12月21日

大会経費V3 公表

- 令和元年12月20日

大会経費V4 公表

1 経費分担試算（V 4）

	組織委員会	東京都	国	支出計
会場関係	1,870 億円 (400 億円)	4,960 億円 (200 億円)	1,400 億円 (200 億円)	8,230 億円 (800 億円)
恒 久 施 設	—	2,260 億円	1,200 億円	3,460 億円
仮 設 等	1,010 億円	2,020 億円	200 億円	4,770 億円
エ ネ ル ギ ー	160 億円	330 億円		
テ ク ノ ロ ジ ー	700 億円	350 億円		
大会関係	4,060 億円 (200 億円)	910 億円 (100 億円)	100 億円 (100 億円)	5,070 億円 (400 億円)
輸 送	410 億円	300 億円	100 億円	5,070 億円
セ キ ュ リ テ ィ	330 億円	520 億円		
オ ペ レ ー シ ョ ン	1,240 億円	90 億円		
管 理 ・ 広 報	650 億円	0 億円		
マ ー ケ テ ィ ン グ	1,250 億円	0 億円		
そ の 他	180 億円	0 億円		
調整費（組織委員会）／緊急対応費（東京都）	100 億円	100 億円	—	200 億円
支 出 計	6,030 億円 (600 億円)	5,970 億円 (300 億円)	1,500 億円 (300 億円)	13,500 億円 (1,200 億円)
予 備 費	270 億円			

（注1）予期せずに発生し得る事態等に対処する必要がある場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

（注2）（）は、うちパラリンピック経費分である。

2 経費分担試算（V3とV4との比較）

※ 〈 〉 書の増減はV3との比較

	V3				V4			
	組織委員会	東京都	国	支出計	組織委員会	東京都	国	支出計
会場関係	1,800 億円 (400 億円)	4,900 億円 (200 億円)	1,400 億円 (200 億円)	8,100 億円 (800 億円)	1,870 億円 〈+70〉 (400 億円) 〈—〉	4,960 億円 〈+60〉 (200 億円) 〈—〉	1,400 億円 〈—〉 (200 億円) 〈—〉	8,230 億円 〈+130〉 (800 億円) 〈—〉
恒 久 施 設	—	2,250 億円	1,200 億円	3,450 億円	— 〈—〉	2,260 億円 〈+10〉	1,200 億円 〈—〉	3,460 億円 〈+10〉
仮 設 等	950 億円	2,100 億円	200 億円	4,650 億円	1,010 億円 〈+60〉	2,020 億円 〈▲80〉	200 億円 〈—〉	4,770 億円 〈+120〉
エ ネ ル ギ ー	150 億円	250 億円			160 億円 〈+10〉	330 億円 〈+80〉		
テ ク ノ ロ ジ ー	700 億円	300 億円			700 億円 〈—〉	350 億円 〈+50〉		
大会関係	3,850 億円 (200 億円)	1,100 億円 (100 億円)	100 億円 (100 億円)	5,050 億円 (400 億円)	4,060 億円 〈+210〉 (200 億円) 〈—〉	910 億円 〈▲190〉 (100 億円) 〈—〉	100 億円 〈—〉 (100 億円) 〈—〉	5,070 億円 〈+20〉 (400 億円) 〈—〉
輸 送	350 億円	250 億円	100 億円	5,050 億円	410 億円 〈+60〉	300 億円 〈+50〉	100 億円 〈—〉	5,070 億円 〈+20〉
セ キ ュ リ テ ィ	200 億円	750 億円			330 億円 〈+130〉	520 億円 〈▲230〉		
オ ペ レ ー シ ョ ン	1,050 億円	100 億円			1,240 億円 〈+190〉	90 億円 〈▲10〉		
管 理 ・ 広 報	650 億円	0 億円			650 億円 〈—〉	0 億円 〈—〉		
マ ー ケ テ ィ ン グ	1,250 億円	0 億円			1,250 億円 〈—〉	0 億円 〈—〉		
そ の 他	350 億円	0 億円			180 億円 〈▲170〉	0 億円 〈—〉		
調整費（組織委員会）／ 緊急対応費（東京都）	350 億円	—	—	350 億円	100 億円 〈▲250〉	100 億円 〈+100〉	— 〈—〉	200 億円 〈▲150〉
支 出 計	6,000 億円 (600 億円)	6,000 億円 (300 億円)	1,500 億円 (300 億円)	13,500 億円 (1,200 億円)	6,030 億円 〈+30〉 (600 億円) 〈—〉	5,970 億円 〈▲30〉 (300 億円) 〈—〉	1,500 億円 〈—〉 (300 億円) 〈—〉	13,500 億円 〈—〉 (1,200 億円) 〈—〉
予 備 費					270 億円 〈+270〉			

（注1）予期せずに発生し得る事態等に対処する必要がある場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

（注2）（）は、うちパラリンピック経費分である。

3 経費増減（V3とV4との比較）

（単位：億円）

区分	V3	V4	増減	主な増(+)	主な減(▲)
会場関係	8,100	8,230	+130		
恒久施設	3,450	3,460	+10	—	—
仮設等	3,150	3,160	+10	・IBC/MPCの工事費等の増	—
エネルギー	450	520	+70	・競技会場におけるケーブル数量の増	—
テクノロジー	1,050	1,090	+40	・大型映像装置費用の増	—
大会関係	5,050	5,070	+20		
輸送	600	720	+120	・駐車場などの輸送施設の整備費用等の増	—
セキュリティ	1,000	880	▲ 120	・関係者駐車場や倉庫などの警備計画の具体化による、非競技会場の警備費用等の増	・競技会場における警備機器関連費用等の減 ・競技会場、選手村等の警備費用等の減
オペレーション	1,200	1,390	+190	・運営コントラクター人件費の増 ・競技用備品関連費用の増 ・開閉会式関連費用の増	—
管理・広報	650	650	—	—	—
マーケティング	1,250	1,250	—	—	—
その他	350	180	▲ 170	—	・各FAにコントラクター人件費として移管したことなどによる減
調整費（組織委員会）/ 緊急対応費（東京都）	350	200	▲ 150	・東京都の緊急対応費の増	・あらかじめ計画的に計上していた組織委員会の調整費の減
支出計	13,500	13,500	—		

4 経費増減（東京都負担分、V 3とV 4との比較）

（単位：億円）

区分	V 3	V 4	増減	主な増（＋）	主な減（▲）
会場関係	4,900	4,960	＋60		
恒久施設	2,250	2,260	＋10	（・表示単位変更に伴う計数増）	－
仮設等	2,100	2,020	▲80	－	（・表示単位変更に伴う計数減） ・競歩経費の減
エネルギー	250	330	＋80	・競技会場におけるケーブル数量の増 （・表示単位変更に伴う計数増）	・競歩経費の減
テクノロジー	300	350	＋50	・大型映像装置費用の増 （・表示単位変更に伴う計数増）	・競歩経費の減
大会関係	1,100	910	▲190		
輸送	250	300	＋50	・駐車場などの輸送施設の整備費用等の増 （・表示単位変更に伴う計数増）	－
セキュリティ	750	520	▲230	（・表示単位変更に伴う計数増）	・競技会場における警備機器関連費用等の減 ・競技会場、選手村等の警備費用等の減 ・競歩経費の減
オペレーション	100	90	▲10	－	（・表示単位変更に伴う計数減）
管理・広報	0	0	－	－	－
マーケティング	0	0	－	－	－
その他	0	0	－	－	－
緊急対応費	0	100	＋100	・緊急対応費の計上	－
支 出 計	6,000	5,970	▲30		

参考1 組織委員会及びその他の経費（V 4、ハード・ソフト別）

	組織委員会	その他	支出計
ハード（会場整備）	1,170 億円	5,970 億円	7,140 億円
恒 久 施 設	—	3,460 億円	3,460 億円
仮 設 等	1,010 億円	2,150 億円	3,160 億円
エ ネ ル ギ ー	160 億円	360 億円	520 億円
ソフト（大会運営）	4,760 億円	1,400 億円	6,160 億円
輸 送	410 億円	310 億円	720 億円
セ キ ュ リ テ ィ	330 億円	550 億円	880 億円
テ ク ノ ロ ジ ー	700 億円	390 億円	1,090 億円
オ ペ レ ー シ ョ ン	1,240 億円	150 億円	1,390 億円
管 理 ・ 広 報	650 億円	0 億円	650 億円
マ ー ケ テ ィ ン グ	1,250 億円	0 億円	1,250 億円
そ の 他	180 億円	0 億円	180 億円
調整費（組織委員会）／緊急対応費（東京都）	100 億円	100 億円	200 億円
支 出 計	6,030 億円	7,470 億円	13,500 億円
予 備 費	270 億円		

（注）予期せずに発生し得る事態等に対処する必要があるが生じた場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

参考2 組織委員会及びその他の経費（V3とV4との比較、ハード・ソフト別）

※ 〈 〉 書の増減はV3との比較

	V3			V4		
	組織委員会	その他	支出計	組織委員会	その他	支出計
ハード（会場整備）	1,100 億円	5,950 億円	7,050 億円	1,170 億円 〈+70〉	5,970 億円 〈+20〉	7,140 億円 〈+90〉
恒 久 施 設	—	3,450 億円	3,450 億円	— 〈—〉	3,460 億円 〈+10〉	3,460 億円 〈+10〉
仮 設 等	950 億円	2,200 億円	3,150 億円	1,010 億円 〈+60〉	2,150 億円 〈▲50〉	3,160 億円 〈+10〉
エ ネ ル ギ ー	150 億円	300 億円	450 億円	160 億円 〈+10〉	360 億円 〈+60〉	520 億円 〈+70〉
ソフト（大会運営）	4,550 億円	1,550 億円	6,100 億円	4,760 億円 〈+210〉	1,400 億円 〈▲150〉	6,160 億円 〈+60〉
輸 送	350 億円	250 億円	600 億円	410 億円 〈+60〉	310 億円 〈+60〉	720 億円 〈+120〉
セ キ ュ リ テ ィ	200 億円	800 億円	1,000 億円	330 億円 〈+130〉	550 億円 〈▲250〉	880 億円 〈▲120〉
テ ク ノ ロ ジ ー	700 億円	350 億円	1,050 億円	700 億円 〈—〉	390 億円 〈+40〉	1,090 億円 〈+40〉
オ ペ レ ー シ ョ ン	1,050 億円	150 億円	1,200 億円	1,240 億円 〈+190〉	150 億円 〈—〉	1,390 億円 〈+190〉
管 理 ・ 広 報	650 億円	0 億円	650 億円	650 億円 〈—〉	0 億円 〈—〉	650 億円 〈—〉
マ ー ケ テ ィ ン グ	1,250 億円	0 億円	1,250 億円	1,250 億円 〈—〉	0 億円 〈—〉	1,250 億円 〈—〉
そ の 他	350 億円	0 億円	350 億円	180 億円 〈▲170〉	0 億円 〈—〉	180 億円 〈▲170〉
調整費（組織委員会）/ 緊急対応費（東京都）	350 億円	—	350 億円	100 億円 〈▲250〉	100 億円 〈+100〉	200 億円 〈▲150〉
支 出 計	6,000 億円	7,500 億円	13,500 億円	6,030 億円 〈+30〉	7,470 億円 〈▲30〉	13,500 億円 〈—〉
予 備 費				270 億円 〈+270〉		

（注）予期せずに発生し得る事態等に対処する必要が生じた場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

参考 3 組織委員会予算（V 4）

収 入

項 目	金 額
IOC負担金	850 億円
TOPスポンサー	560 億円
国内スポンサー	3,480 億円
ライセンスング	140 億円
チケット売上	900 億円
その他	370 億円
収 入 計	6,300 億円

支 出

項 目	金 額
ハード（会場整備）	1,170 億円
仮設等	1,010 億円
エネルギー	160 億円
ソフト（大会運営）	4,760 億円
輸送	410 億円
セキュリティ	330 億円
テクノロジー	700 億円
オペレーション	1,240 億円
管理・広報	650 億円
マーケティング	1,250 億円
その他	180 億円
調 整 費	100 億円
支 出 計	6,030 億円
予 備 費	270 億円
合 計	6,300 億円

※ 〈 〉 書の増減はV 3 との比較

参考4 組織委員会予算（V 3 と V 4 との比較）

収 入

項 目	V 3	V 4
IOC負担金	850 億円	850 億円 〈－〉
TOPスポンサー	560 億円	560 億円 〈－〉
国内スポンサー	3,200 億円	3,480 億円 〈+280〉
ライセンシング	140 億円	140 億円 〈－〉
チケット売上	820 億円	900 億円 〈+80〉
その他	330 億円	370 億円 〈+40〉
増収見込	100 億円	－ 〈▲100〉
収 入 計	6,000 億円	6,300 億円 〈+300〉

支 出

項 目	V 3	V 4
ハード（会場整備）	1,100 億円	1,170 億円 〈+70〉
仮設等	950 億円	1,010 億円 〈+60〉
エネルギー	150 億円	160 億円 〈+10〉
ソフト（大会運営）	4,550 億円	4,760 億円 〈+210〉
輸送	350 億円	410 億円 〈+60〉
セキュリティ	200 億円	330 億円 〈+130〉
テクノロジー	700 億円	700 億円 〈－〉
オペレーション	1,050 億円	1,240 億円 〈+190〉
管理・広報	650 億円	650 億円 〈－〉
マーケティング	1,250 億円	1,250 億円 〈－〉
その他	350 億円	180 億円 〈▲170〉
調整費	350 億円	100 億円 〈▲250〉
支 出 計	6,000 億円	6,030 億円 〈+30〉
予 備 費	－	270 億円 〈+270〉
合 計	6,000 億円	6,300 億円 〈+300〉

参考5 経費増減（組織委員会負担分、V3とV4との比較）

（単位：億円）

区分	V3	V4	増減	主な増(+)	主な減(▲)
ハード（会場整備）	1,100	1,170	+70		
恒久施設	—	—	—	—	—
仮設等	950	1,010	+60	・IBC/MPCの工事費等の増	—
エネルギー	150	160	+10	・競技会場におけるケーブル数量の増	—
ソフト（大会運営）	4,550	4,760	+210		
輸送	350	410	+60	・駐車場などの輸送施設の整備費用等の増	—
セキュリティ	200	330	+130	・関係者駐車場や倉庫などの警備計画の具体化による、非競技会場の警備費用等の増	—
テクノロジー	700	700	—	—	—
オペレーション	1,050	1,240	+190	・運営コントラクター人件費の増 ・競技用備品関連費用の増 ・開閉会式関連費用の増	—
管理・広報	650	650	—	—	—
マーケティング	1,250	1,250	—	—	—
その他	350	180	▲ 170	—	・各FAIにコントラクター人件費として移管したことなどによる減
調整費	350	100	▲ 250	—	・あらかじめ計画的に計上していた調整費の減
支出計	6,000	6,030	+30		

※ 都負担から組み替えた競歩経費の増は、仮設等、エネルギー、セキュリティ、テクノロジーに計上している

参考6 今後の課題

共通事項

- より迅速かつ適切な予算執行管理
- テストイベント、ラグビーワールドカップ組織委員会から得られた知見の本大会への反映
- マラソン・競歩の札幌移転の費用の精査、IOCとの経費分担の調整
- 多様な人材の適正配置
- 各種備品の単価見直し・共有化
- ペーパーレス化
- ラストマイルにおける観客誘導、周辺警備
- 持続可能性への配慮等、新たなニーズへの対応
- 会場毎のサービス水準の調整、会場・競技毎の予算管理
- 大会直前期・大会期間中等、V4予算編成後に生じた事態等に対応するための予算の確保、各会場での柔軟な予算執行の権限の付与と適切な執行管理
- 大会後の迅速かつ的確な業務の完了
- 国民・都民に分かりやすい大会収支報告の策定

ハード(会場整備)

- 仮設オーバーレイの適切な変更等の管理
- 会場借上期間の短縮化
- 会場内の仮設電源設備の適切な変更の管理

ソフト(大会運営)

- 確実な競技運営の実施
- 会場運営計画の具体化に伴う人員配置の精緻化
- 適切な食品管理に基づく飲食の提供
- 大会時の医療サービスの迅速・確実な提供
- 警備の基本計画を踏まえた各関係機関との緊密な連携
- サイバーセキュリティ対策の効率的な強化
- 大会関係者の動向分析を踏まえた車両運行計画・ドライバー所要人数の精査